



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 日本ピグメント株式会社
 コード番号 4119 URL <http://www.pigment.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 龍巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部担当 (氏名) 今井 信一
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6362-8801

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	34,180	12.6	680	3.6	826	18.6	393	2.7
29年3月期第3四半期	30,349	△1.1	657	504.9	696	589.9	382	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,476百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 111百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	250.56	—
29年3月期第3四半期	243.86	—

(注) 当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	31,385	14,012	41.6
29年3月期	27,597	12,665	42.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 13,056百万円 29年3月期 11,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	8.00	8.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の1株当たり期末配当金は8円00銭となり、1株当たり年間配当金は8円00銭となります。詳細につきましては「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	0.9	1,050	0.4	1,100	1.0	700	1.3	445.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年3月期の通期業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	1,575,899 株	29年3月期	1,575,899 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	5,662 株	29年3月期	5,403 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	1,570,368 株	29年3月期3Q	1,570,523 株

(注)当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は平成29年6月29日開催の第81回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を行っております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株へ変更)を実施しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の連結業績予想、配当予想は以下のとおりです。

- ・平成30年3月期の連結業績予想(1株当たり当期純利益): 44円57銭
- ・平成30年3月期の配当予想 (1株当たり期末配当金): 8円00銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(セグメント情報等).....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の緩やかな回復、企業収益や雇用環境の改善が進み、全体として回復基調が続いております。海外において、米国では良好な雇用情勢等を背景に景気拡大が持続しており、欧州でも企業収益の回復により経済成長が継続いたしました。また、アジア新興国においても持ち直しの動きが見られるなど総じて堅調に推移いたしました。

このようななか当社グループにおいては、国内および東南アジアでの樹脂コンパウンド需要の堅調を背景に概ね良好な業況推移となっております。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は341億8千万円(前期比12.6%増)、経常利益は8億2千6百万円(前期比18.6%増)となりましたが関連会社の増資による持分変動損失1億2千万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億9千3百万円(前期比2.7%増)となりました。

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

日本

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチックを中心に受注が高水準で推移しております。急激な受注増に生産対応が追いつくまでには至らず、一部地域で生産効率の悪化を招く局面もあったことから、部門営業利益では想定を若干上回る結果に留まりました。

樹脂用着色剤部門は、自動車・建材・樹脂メーカー向けが堅調に推移しましたが、他分野の落ち込みをカバーするまでには至らず、部門営業利益は想定までには至りませんでした。

最後に、加工カラー部門は、化成品で一部の自動車産業向けや建材産業向けが比較的堅調に推移し、概ね想定どおりの結果となりましたが、液体分散体では海外関連の一時的な在庫調整等の影響を受けたことから当初想定を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は196億5百万円(前期比6.9%増)、営業利益は4億5百万円(前期比6.4%減)となりました。

東南アジア

東南アジアは、インドネシアでの自動車産業向けにおいて年初来の在庫調整の影響が残ったものの、その他地域での家電産業向けの受注が好調であり、全体としては概ね堅調に推移しました。当第3四半期連結累計期間の売上高は140億4千9百万円(前期比21.7%増)、営業利益は3億1百万円(前期比16.7%増)となりました。

その他

その他は、中国での日系自動車関連の受注回復により、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億2千6百万円(前期比12.0%増)となりましたが、当初の想定を下回り、またメンテナンス費用の計上もあり営業損失は2千6百万円(前期営業損失3千4百万円)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間の総資産は313億8千5百万円と前期末の275億9千7百万円に比べ37億8千8百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は158億4千1百万円と前期末の140億7千9百万円に比べ17億6千2百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が2億5千6百万円、受取手形及び売掛金が9億2千7百万円、製品が2億4千4百万円及び原材料及び貯蔵品が2億7千5百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定資産は155億4千4百万円と前期末の135億1千8百万円に比べ20億2千5百万円の増加となりました。この主な要因は土地の取得等もあって有形固定資産が4億5千5百万円、無形固定資産が1億2千万円、投資有価証券が13億3千4百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

負債合計は173億7千2百万円と前期末の149億3千2百万円に比べ24億4千万円の増加となりました。負債のうち流動負債は131億3千3百万円と前期末の112億4千8百万円に比べ18億8千4百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が14億8千7百万円、短期借入金が1億7千6百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定負債は42億3千9百万円と前期末の36億8千3百万円に比べ5億5千5百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金1億9千5百万円、長期繰延税金負債が3億6千5百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

純資産合計は140億1千2百万円と前期末の126億6千5百万円に比べ13億4千7百万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が2億6千7百万円、その他有価証券評価差額金が8億7千2百万円及び為替換算調整勘定が1億2千8百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期における通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,233,504	2,489,767
受取手形及び売掛金	7,063,031	7,990,408
製品	2,197,622	2,442,276
原材料及び貯蔵品	2,046,830	2,322,480
その他	539,020	597,259
貸倒引当金	△929	△996
流動資産合計	14,079,080	15,841,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,574,784	2,584,450
土地	3,604,184	3,869,248
その他(純額)	2,102,831	2,283,244
有形固定資産合計	8,281,800	8,736,942
無形固定資産	63,854	184,583
投資その他の資産		
投資有価証券	4,582,832	5,916,834
その他	604,407	720,527
貸倒引当金	△14,265	△14,265
投資その他の資産合計	5,172,975	6,623,097
固定資産合計	13,518,630	15,544,623
資産合計	27,597,711	31,385,819
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,980,004	7,467,446
短期借入金	3,896,727	4,073,043
未払法人税等	229,854	263,610
賞与引当金	178,078	88,187
その他	964,299	1,241,242
流動負債合計	11,248,964	13,133,530
固定負債		
長期借入金	2,363,523	2,559,314
繰延税金負債	855,824	1,221,084
退職給付に係る負債	400,394	395,339
その他	63,662	63,662
固定負債合計	3,683,404	4,239,399
負債合計	14,932,368	17,372,930

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,047,700	1,033,980
利益剰余金	8,738,836	9,006,679
自己株式	△16,150	△17,100
株主資本合計	11,251,546	11,504,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,369,211	2,242,113
為替換算調整勘定	△613,589	△484,723
退職給付に係る調整累計額	△265,786	△205,696
その他の包括利益累計額合計	489,834	1,551,692
非支配株主持分	923,962	956,476
純資産合計	12,665,343	14,012,888
負債純資産合計	27,597,711	31,385,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	30,349,664	34,180,827
売上原価	27,577,234	31,224,417
売上総利益	2,772,430	2,956,409
販売費及び一般管理費	2,115,225	2,275,826
営業利益	657,204	680,582
営業外収益		
受取利息	6,067	1,970
受取配当金	63,295	73,134
持分法による投資利益	8,268	74,964
その他	67,346	103,927
営業外収益合計	144,978	253,996
営業外費用		
支払利息	71,456	72,894
その他	33,743	35,164
営業外費用合計	105,199	108,058
経常利益	696,982	826,521
特別利益		
固定資産売却益	5,784	1,719
投資有価証券売却益	71,276	-
特別利益合計	77,061	1,719
特別損失		
固定資産除売却損	2,879	2,617
その他の投資評価損	27,764	-
貸倒引当金繰入額	8,436	-
債務保証損失	46,953	-
持分変動損失	-	120,242
その他	5,182	-
特別損失合計	91,217	122,860
税金等調整前四半期純利益	682,827	705,379
法人税、住民税及び事業税	188,041	220,326
法人税等調整額	60,921	36,492
法人税等合計	248,963	256,818
四半期純利益	433,863	448,561
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,866	55,078
親会社株主に帰属する四半期純利益	382,997	393,482

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	433,863	448,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	406,430	872,901
為替換算調整勘定	△588,704	△2,065
退職給付に係る調整額	54,597	58,980
持分法適用会社に対する持分相当額	△195,186	98,392
その他の包括利益合計	△322,862	1,028,210
四半期包括利益	111,001	1,476,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,008	1,455,340
非支配株主に係る四半期包括利益	△99,007	21,430

(3)【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,333,232	11,546,634	29,879,867	469,797	30,349,664	—	30,349,664
セグメント間の内部 売上高又は振替高	176,645	—	176,645	9,961	186,607	△ 186,607	—
計	18,509,878	11,546,634	30,056,513	479,758	30,536,272	△ 186,607	30,349,664
セグメント利益又は損失(△)	433,701	258,427	692,129	△ 34,925	657,204	—	657,204

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,605,485	14,049,103	33,654,588	526,238	34,180,827	—	34,180,827
セグメント間の内部 売上高又は振替高	195,962	127	196,089	10,450	206,540	△ 206,540	—
計	19,801,448	14,049,230	33,850,678	536,688	34,387,367	△ 206,540	34,180,827
セグメント利益又は損失(△)	405,789	301,489	707,278	△ 26,695	680,582	—	680,582

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。